



20180330日本総研シンポジウム
「地方自治体における地域包括ケアシステム構築に向けた「保険外サービスの活用」

「ふつうに暮らせるしあわせをどう守り支えるか」 公的保険外サービスの創出・活用促進

地域包括ケア「豊明モデル」けやきいきいきプロジェクト

豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課

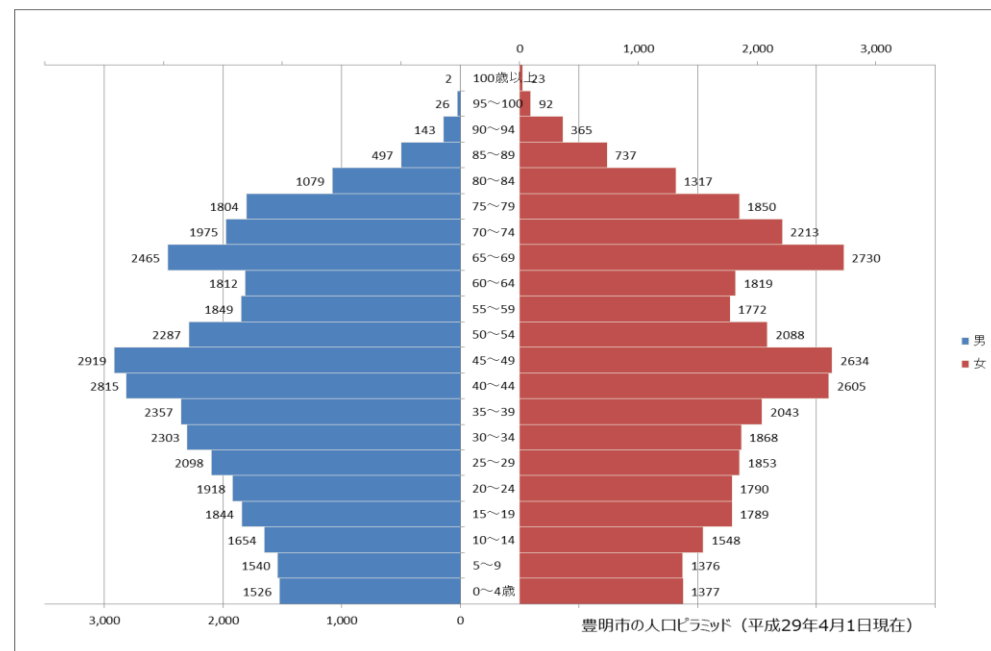
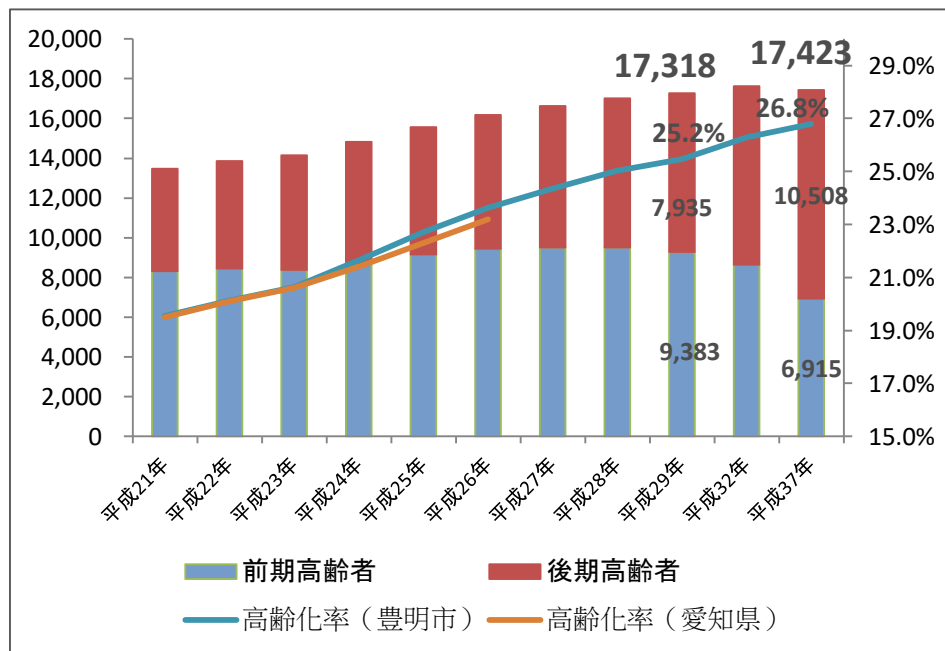


目次

- 1 取組の背景
- 2 課題把握と取組のきっかけ
- 3 サービス創出の仕掛け

豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市ベッドタウン
- ・人口 68,802人 (29,240世帯)
- 高齡者人口 17,318人 (平成29年4月1日現在)
- ・高齡化率 **25.2%** (県高齡化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齡者に人口に山があり、
今後10年の後期高齡者の伸びが著しい地域特性



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床0、療養28)

藤田保健衛生大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪リハ 4

関連師会

- ◆医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 3 (委託)



藤田保健衛生大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15,2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床
を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

豊明市を取り巻く社会変化

◇背景

- ・大都市近郊の高齢化の典型、**後期高齢者人口の著しい増加**
- ・**豊明団地**を中心に**独居高齢者・高齢者のみ世帯**の増加
- ・急性期医療、施設系サービスに**偏った医療介護提供体制**

◇課題

- ・**在院日数の短縮**、繰り返す入退院
- ・全国平均、県平均を上回る一人あたりの**医療費**
- ・**在宅を支えるサービスの不足**、**施設サービス利用率の高さ**
- ・軽度者を**要介護状態にさせない**、**重度化させない**仕組み
- ・この10年間に後期高齢期を迎える世代の健康づくり

地域包括ケア「豊明モデル」のあゆみ

豊明市と藤田学園の包括協定

平成25年4月30日

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との多分野での連携協力に関する包括協定締結



豊明市とUR都市機構との包括協定

平成26年4月16日

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて包括協定締結
- ・全国100団地拠点に選定



URと藤田学園の包括協定

平成26年12月5日

- ・地域医療福祉拠点の形成や、ミストコミュニティ形成推進に向けた取組みに関する包括協定締結



愛知県地域包括ケアモデル事業

- ・平成26年度～平成28年度(3年間)
- ・豊明市北部地域「豊明団地」をモデル地区とし藤田保健衛生大学・UR都市機構とともに事業展開
- ・豊明団地から広がる地域包括ケア「豊明モデル」づくり
「けやきいきいきプロジェクト」

産官学の地域包括ケアー豊明団地けやきいきいきプロジェクト

豊明団地ケアネットワークの協力体制

UR都市機構

- 拠点施設の整備
- 学生向け居室の整備

学生・教員の団地内居住と コミュニティ参加



けやきいきいき プロジェクト会議



藤田保健衛生大学

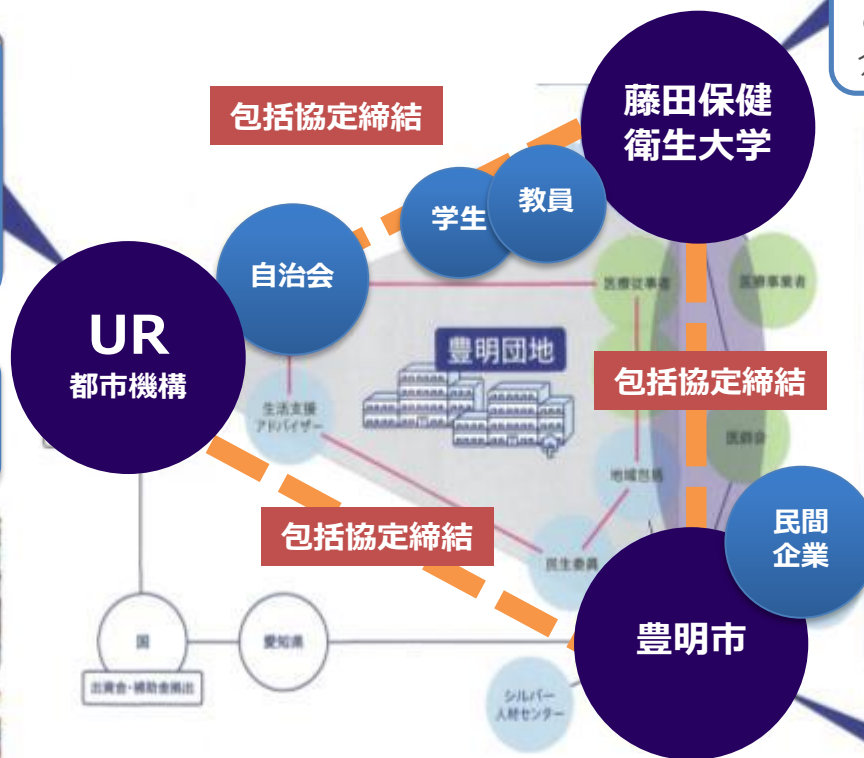
- まちかど保健室の運営
- 学生・教職員の団地居住
- コミュニティ活動支援
- 団地をフィールドとした地域の医療介護人材育成

ふじた「まちかど保健室」



豊明市

- プロジェクト会議の運営
- 民間事業者等の協力要請
- 地域包括支援センターの整備
- 病後児保育室の整備
- 医療介護サポートセンター整備

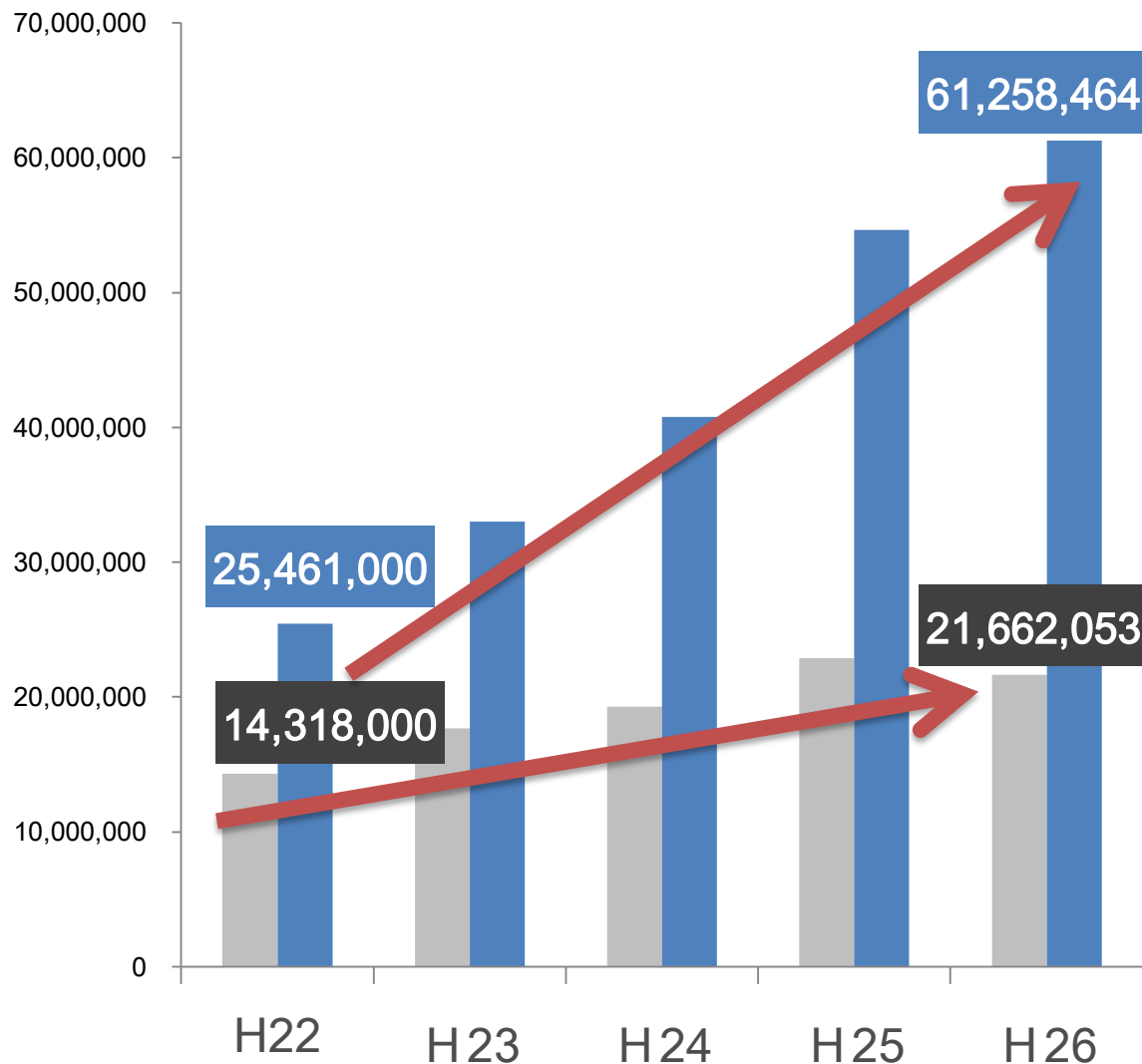




目次

- 1 取組の背景
- 2 課題把握と取組のきっかけ
- 3 サービス創出の仕掛け

要支援者の通所・訪問サービス給付費の推移



5年間で

介護予防通所介護

2.5倍

(年平均伸び率28.5%)

介護予防訪問介護

1.5倍

(年平均伸び率12.8%)

要支援者の1年後重度化率の比較

		平成28年3月				
		要支援1	要支援2	要介護1・2	要介護3～5	
豊 明 市	平成27年 3月	要支援1	42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
		要支援2	9.5%	62.5%	26.2%	1.8%
全 国	平成27年 3月	要支援1	67.9%	19.9%	11.2%	1.0%
		要支援2	11.3%	67.5%	19.2%	2.2%

要支援者は
1年後に

要支援1の

57%が重度化

27%は要介護

要支援2の

28%が要介護

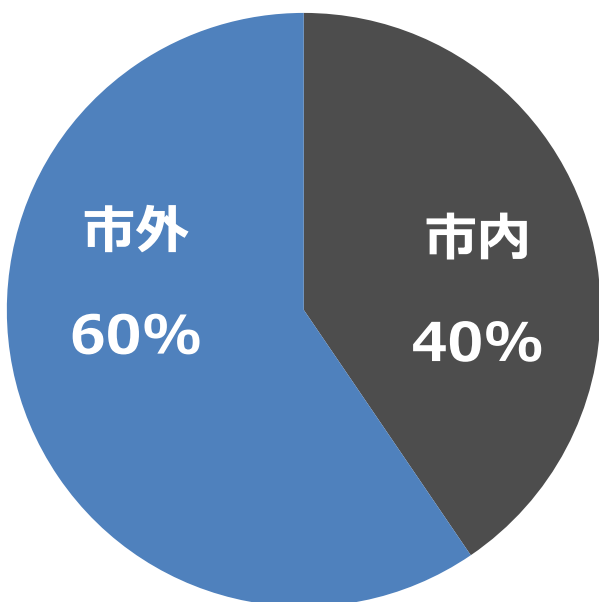
全国値よりきわめて
高い重度化率

※平成27年度 介護給付費実態調査の概況

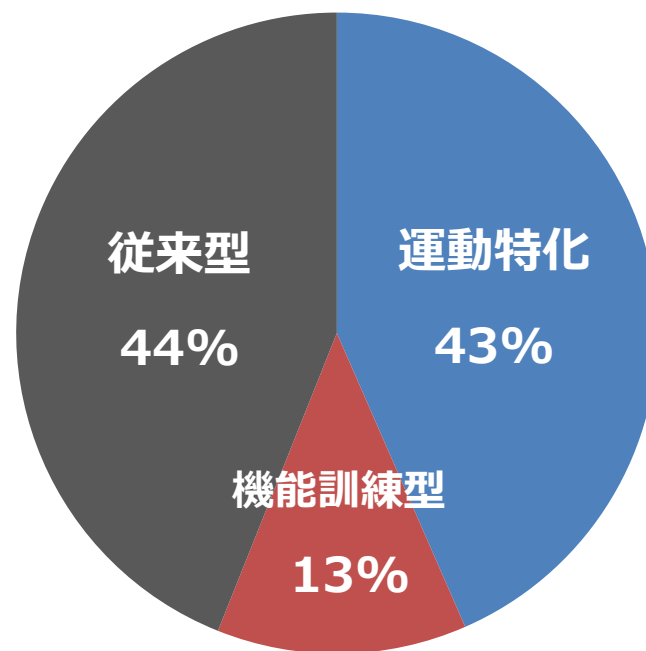
表4 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

要支援者の通所サービス利用状況

サービス事業所



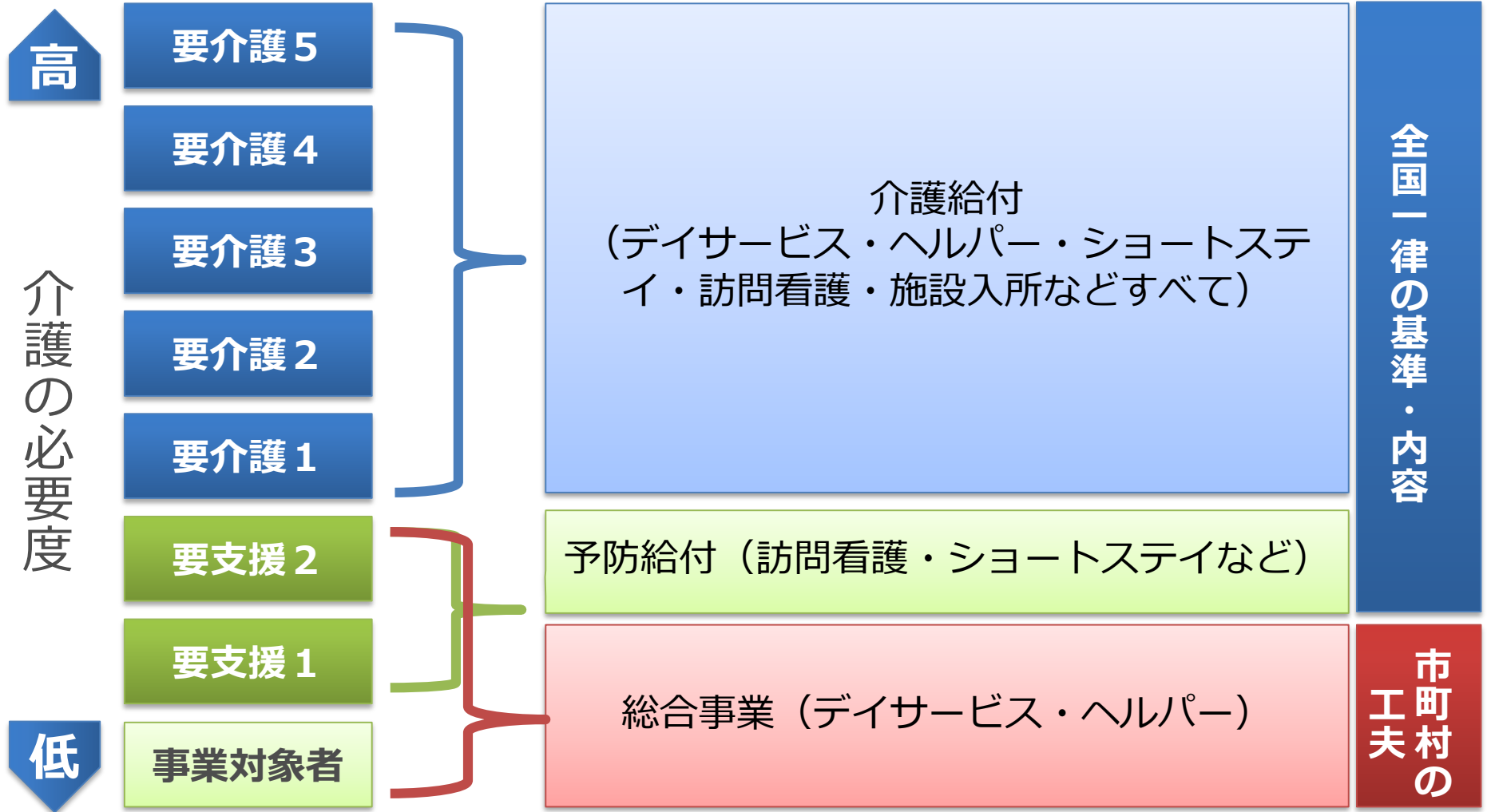
サービスのタイプ



分析

- ①利用者の大幅な伸びは、市外（近隣市）に、運動特化デイサービス（半日型）の事業所が多くできたことによるところが大きいのではないか
- ②サービスが需要を生んでいる構造になっていないか

介護予防・日常生活支援**総合事業**とは



介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年3月総合事業移行。
 通所事業は、まちかど運動教室（一般介護予防）を中心に据え、短期集中的に高い専門性を持つ理学療法士等によるリハビリを行い、廃用症候群からの早期脱却を目指すプログラムとした



市内デイケア事業所による質の高いリハビリ提供

豊明市リハビリ連絡協議会によるプログラム検討



市内20会場で地域運営のまちかど運動教室





豊明市 高齢者一般介護 予防事業

まぢかど 運動教室

お近くでみなさんと一緒に運動習慣と筋力を作りましょう!

「老化は仕方ないこと」と考えていませんか?

心身機能を低下させてしまう最大の原因は、「もっただから」「あつくだから」と身の回りのことや外出をしなくなることにあります。まぢかど運動教室をきっかけに、老化を防ぎ、健康で長生きできる心身をつくりましょう!

対象 おおむね65歳以上の方
男女問いません

場所 市内の地域の集会所・公民館等 (詳細は裏面)

内容 1時間程度のストレッチ、筋力アップ体操
椅子に座ったままでも、立った姿勢でも可能です

講師 スポーツインストラクター等 (介護予防運動指導員)

各地区情報・裏面参照

みなさんのお近くの「まぢかど運動教室」に関するお問合せは
豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261

多職種合同ケアカンファレンス（保険者主催の地域ケア会議）

市が主催する症例検討会議（地域ケア会議）

【目的】

自立型ケアマネジメントの強化
多職種の視点によるケアの質の向上

【頻度】

要支援・事業対象者（月1回）
要介護（月1回）

【司会】

- ・ 要支援 – 高齢者福祉課
- ・ 要介護 – 主任ケアマネ・包括職員

【参加者】

包括職員、ケアマネジャー
集中リハ事業所（リハ職）
医師、薬剤師、PT、OT、ST、栄養士
保健師、看護師、歯科医、歯科衛生士、
生活支援コーディネーター（ほか多数）



本人概要	74歳女性	
世帯構成・住環境	長男家族4人、戸建（三崎町三崎） 6年前に埼玉県から名古屋→現住所へ	夫は6年前に死去
日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度/A2 認知症高齢者の日常生活自立度/I	要支援2→事業対象者
医療	腰椎圧迫骨折、骨粗しょう症/みずのクリニック月1回受診、 高血圧、腎嚢胞/緑市民病院 歯科1回/3ヶ月	4/4第3腰椎圧迫骨折(保大)→4/25辻村 転院→みずのへ
服薬		
基本チェックリスト	運動3/5、栄養0/2、口腔0/3、閉じこもり0/2 認知症0/3、うつ0/5	
公的サービス	元気アップ集中リハ	4月までデイケア利用していた
非公的サービス		
一日の過ごし方	散歩を日課とし、近医の通院や孫の世話（小学生）をしている。家族以外の他者との交流少ない 習い事に興味がある	趣味はカラオケ・茶道・華道・琴・花の手入れ・旅行
総合的な課題	デイケア終了後の生活変化から筋力低下、社会生活の低下が心配される。	
目標とする生活	①孫とひまわりバスに乗る ②新しい人間関係ができる 1日：毎日少しずつ散歩の距離を伸ばす 1年：一人で乗り物に乗り歌舞伎座へ歌舞伎を見に行く	習い事に興味あり

高齢者が抱える生活課題の把握

免許を返納して、移動の足がないので、デイサービスをやめたらほかに行く場所がない。

買い物は自分の目で見て買いたい。でも、手に持てるだけしか買えない。

デイサービスなんか行きたくない。もとの元気な時の暮らしに戻りたい。

要支援者の「支援」こそ、介護保険だけでは難しい

- 廃用症候群からの脱却には、「活動的な生活」を送る必要があり、本人の「意欲」にかかってくるのが大きい。
- 本人の望む「家の外の生活」を提供ができなければ、エンドレスのデイサービス利用になる
- 軽度者の自立支援型ケアマネジメントは、その人の生活スタイル、意欲までアプローチして、生活を成り立たせる「手引き」をしなければいけない難しさがある。

民間サービスの力を知る

市内には使える資源がたくさんあるはず

例えば・・・

- シニア世代が多く通うフィットネスクラブ
- 歩いて行けて高齢者のたまり場となっている喫茶店
- リサイクル処理業者によるお片付けサービス
- シニア向けの趣味・習い事



フィットネスクラブのメニュー



市内に70店舗以上ある喫茶店

おそうじ・お片付け・整理整頓・不用品処分・生前整理

親孝行サービス

ご実家が心配なあなたに、片付けがお手伝いします。
思ふきから、ご実家全体の不用品処分まで全ておまかせください。

片付けの
の2大看板

定期のおそうじは1人1時間3000円
家具移動など重作業は1人時間4000円(税別)

「住み慣れたお家で明るく元気にいつまでも」
片付けは、定期的なおそうじしながら、分譲半房を考えた、
快適な空間作りを提案します。

サービスの流れ

- 1 お問合せ
お電話・メールなどが、お気軽にご連絡ください。スタッフが、専門スタッフに連絡いたします。
- 2 お打合せ
お時間に合わせてお打ち合わせ。最適なプランをご提案します。
- 3 作業
ご実家へ伺って、お話しした、行けるまで快適なお部屋を演出します。
- 4 ご報告
完了後必ずご報告にいたします。

片付けトントン

お電話の片付け、不用品回収、生前整理

0120-047-479
お見積無料 年中無休 8:00-20:00

徳川市美濃町区長尾39年
株式会社 中西

リサイクル処理業者によるお片付け

お片付け事例集

片付けトントン

Vol.1

株式会社 中西

NEW

歌って踊る 青春ポップス

YAMAHA MUSIC FOUNDATION

今日、妻は機嫌が悪い。なぜだろう？

「ママさんは、レクソフ音楽」新しい曲を聴かせよう！
①楽譜なしでも、レクソフオリジナル映像
②お家で一人でもステップアップ
③お友達と一緒に練習したい
④お友達と一緒に練習したい

レクソフ12歳
心算・算数、国語、英語、音楽、美術、体育、家庭科、社会科、理科、外国語、総合

2016年 徳川市 美濃町区 長尾39年

シニア向けの習い事

取組のきっかけ

企業への個別の働きかけ

市が把握している高齢者の生活課題を解決できそうな業種へ直接働きかけ

企業と医療福祉関係者との協議の場

高齢者の生活課題（生活しづらさ、こうしたい）を伝える場としての協議の場

サービス創出に向けた個別協議

個々の企業と市担当者で、今あるサービスをどう生かせるか、どんな新しいサービスができそうかを協議、トライアル、改善へ

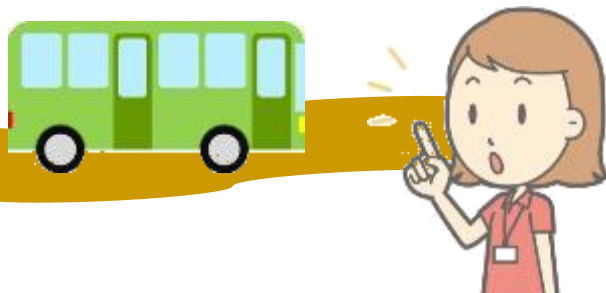
公的保険外サービス創出の取組のきっかけ①



市外温泉からの無料送迎バス



(株)ナカシロ



隣接市（名古屋市緑区）の複合温泉施設の送迎バスが、豊明市内の一部の地域を走っているのを職員が発見。しかし乗車率が非常に悪かった。



送迎バスがある民間施設は、高齢者が毎日外出できる場所になり得ると考え、すぐに市からアプローチ。バスの乗車率向上の協力(住民への周知)を申し入れた。



定例ミーティングを重ね、送迎バスのチラシ、販促用の割引チケット等を共同で制作。地域住民が集まる場で、職員が直接配布し、効果を検証した。

公的保険外サービス創出の取組のきっかけ②



買った商品を無料配送するスーパー



団地プロジェクトで、買い物は**自分の目で見て選びたい**が、買った商品を持って階段を昇ることが難しく、**一度にたくさん購入できない**というニーズを把握。

駅前に店舗を構えるコープに市からプロジェクト会議への参加を依頼。従来の個人宅配の使いにくさ等、高齢者のニーズを共に検討、**新たなサービスの検討を重ねる。**

店舗で購入した商品**を無料でその日のうちに配達**する「ふれあい便」をスタート。その後電話注文も対応。サービスを使った**買物方法を市がケアマネジャーや住民に周知し利用を促した。**



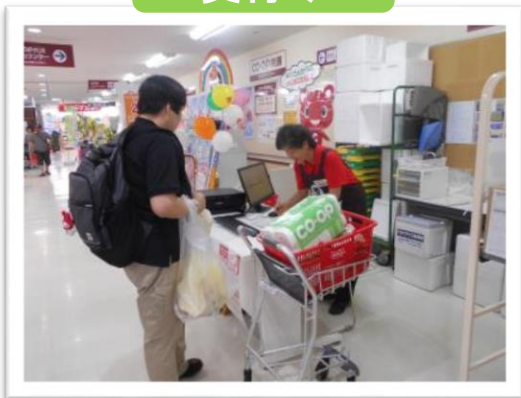


生活協同組合

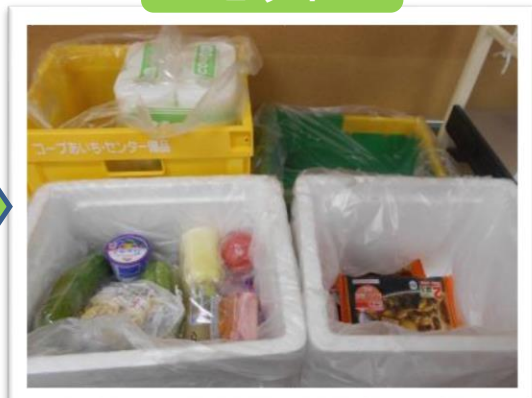
コープあいち

ふれあい便

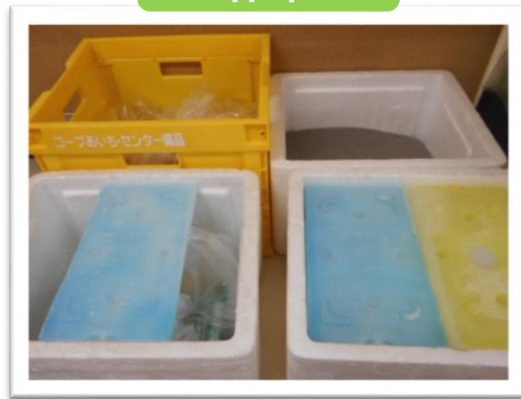
受付



セット



保冷



配送



お届け



民間事業者との協議の場・サービス開発

高齢者の暮らしにくさを解決する生活支援や健康寿命延伸に寄与するサービスを展開する民間企業に市から声を掛け協議の場を設けた。その後、個別に市とサービスの協議を重ねた。

参加者

リサイクル業者、フィットネスクラブ、掃除サービス業者、食品メーカー、スーパー、天然温泉施設、カラオケ施設、学習塾、楽器店、ドラッグストア、地域包括支援センター、大学など

協議内容

高齢者のニーズ（生活上の支障、お困りごと、現行の民間サービスの利用のしにくさ）や求めているサービスなどを協議



公的保険外サービス・健康寿命延伸事業展開促進

公的保険外サービス・高齢者健康寿命延伸事業
民間事業者連絡会議

豊明市健康福祉部高齢者福祉課

民間事業者と連携により実施した事業の一例



温泉施設で理学療法士による健康講座
楽の湯(株)ナカシロ



カラオケボックスを利用した体操教室
(株)東海第一興商



インストラクターによる健康講座
Curves前後駅前店(株)だるま



市主催の運動教室での健康チェックと商品説明
森永乳業(株)中部支社



目次

- 1 取組の背景
- 2 課題把握と取組のきっかけ
- 3 サービス創出の仕掛け

公的保険外サービス創出の仕掛け

市のスタンスを企業へ共有

公的保険外サービス創出に向けての市のスタンスを明確化

公的保険外サービスに関する協定

協定締結やメディア発信により、企業の経営陣の意欲を高揚
さらなる企業の参入をねらう

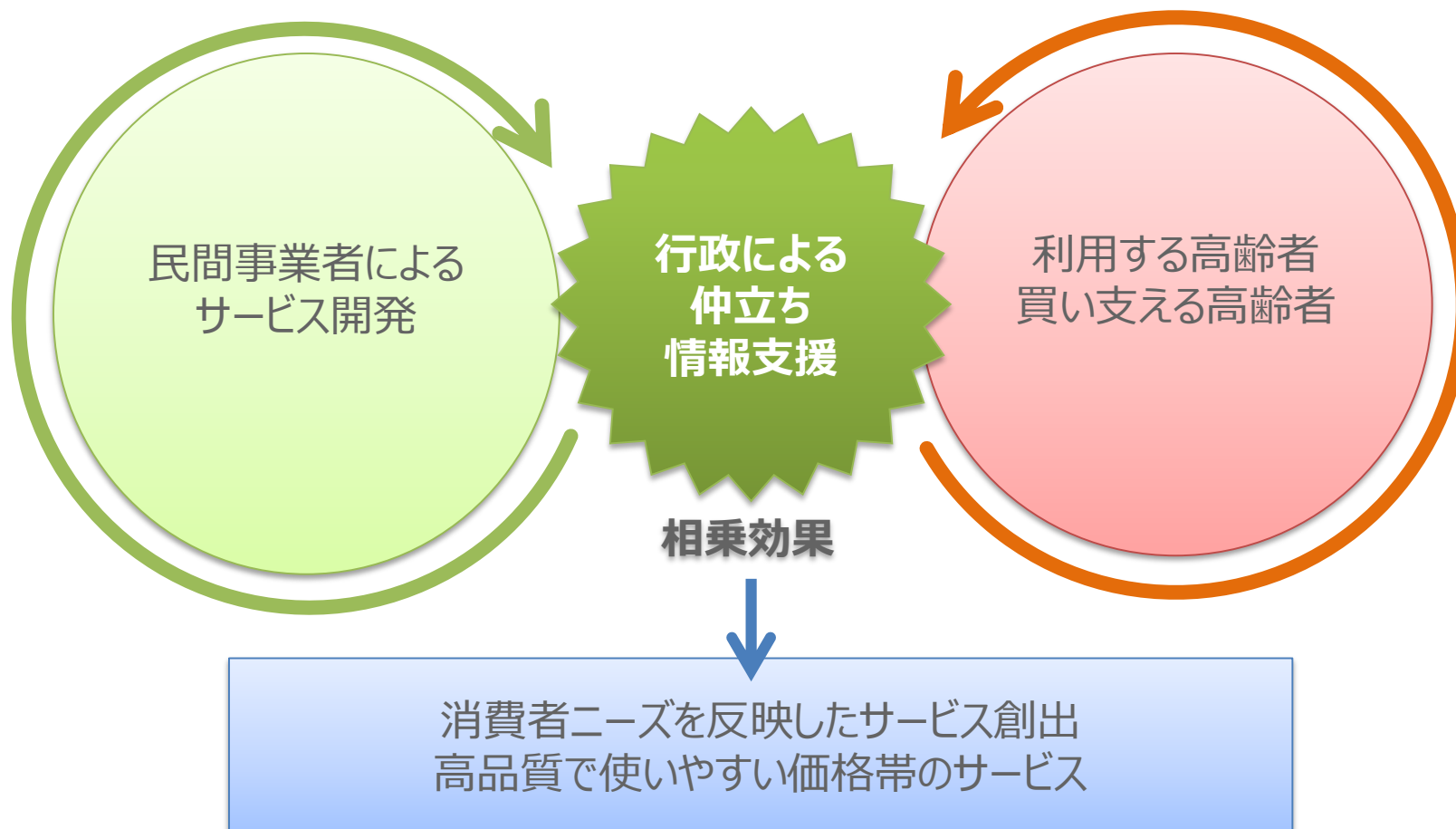
利用を促進する「アテンダント」の存在

ケアマネジャーやリハビリ職が介護保険サービス利用時に、
また、市担当者が出前講座等においてサービスを周知し、
直接住民に利用を手引きすることで利用者アップにつなげる

ヘルスケア産業・公的保険外サービスの活用

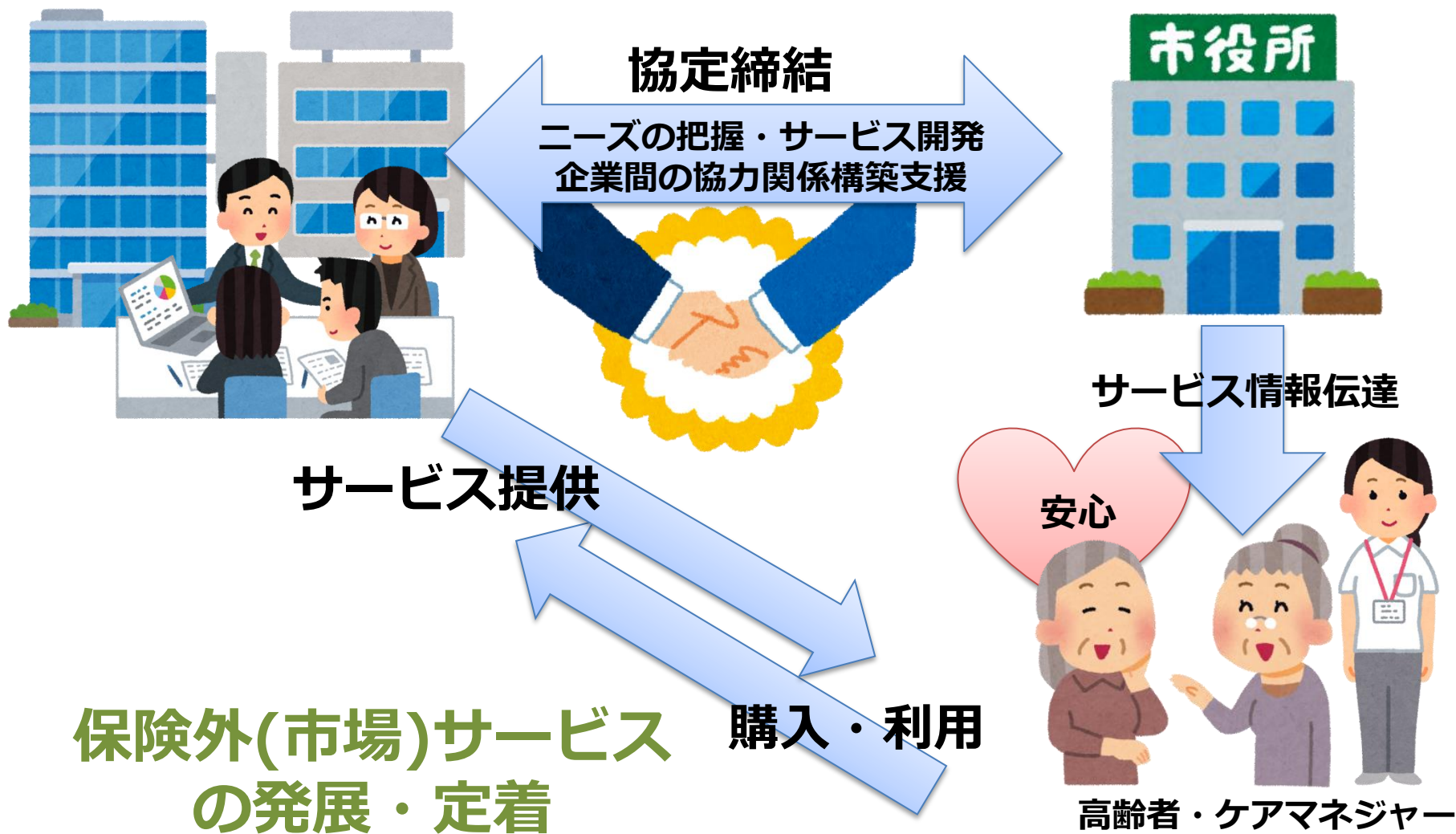
どうやって高齢者にサービスを知ってもらえるのか
高齢者が何を望んでいるのかわからない

どんなサービスがあるのかわからない
利用するきっかけがない

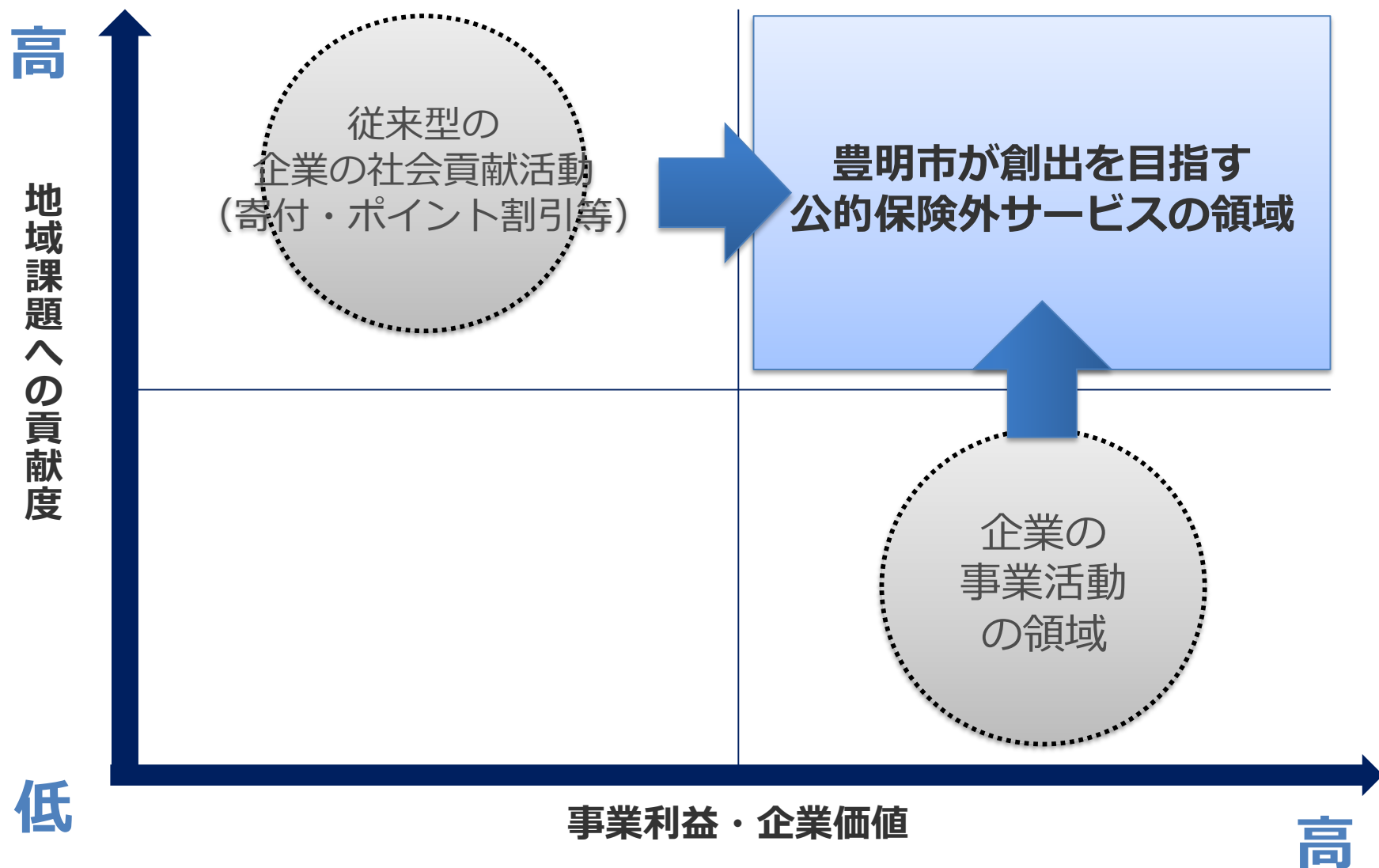


民間企業による 高齢者向けサービスの開発

自治体による サービス創出・活用支援



豊明市が目指す公的保険外サービスの領域



公的保険外サービス創出・促進に関する協定締結

平成29年2月15日民間企業9社、翌30年2月7日さらに3社と協定締結。計12社が参加。

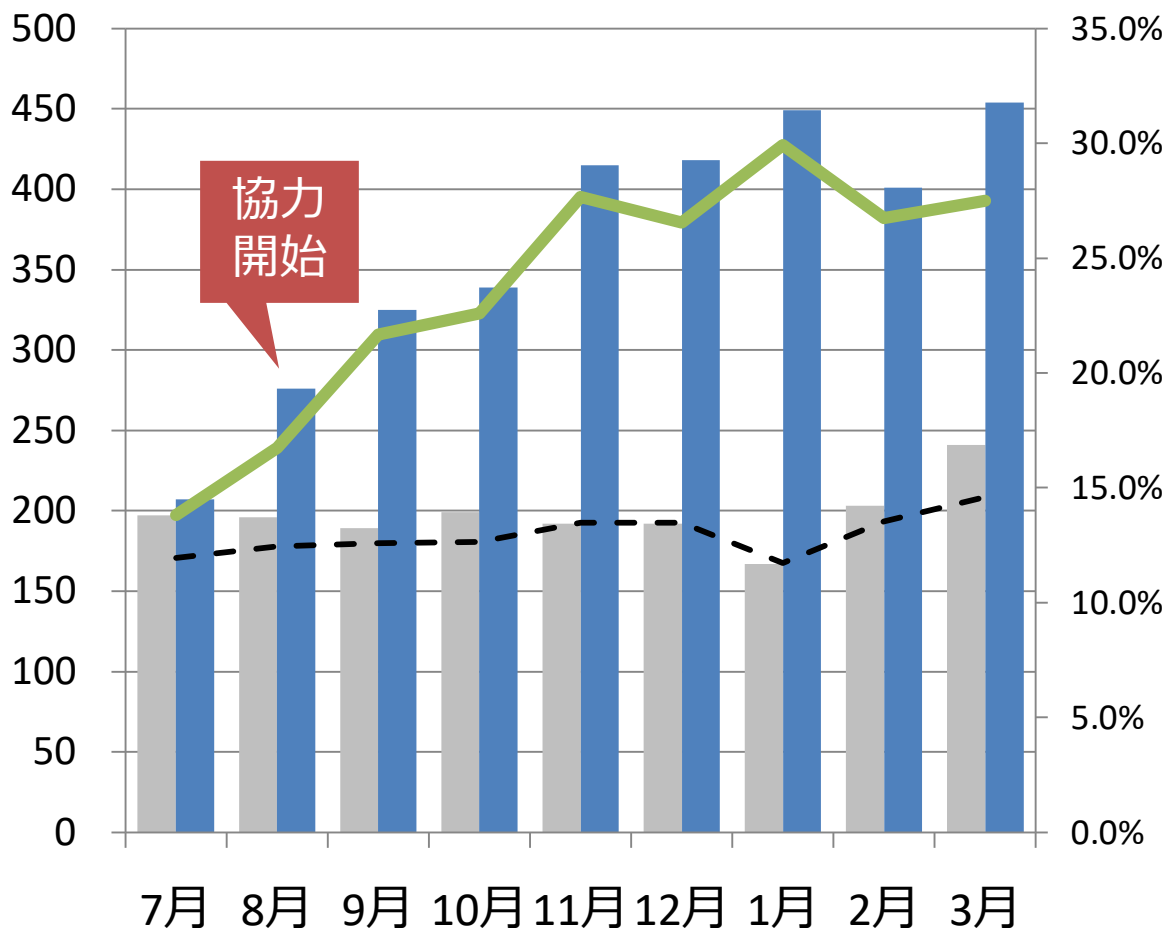
行政の役割：連絡会議の開催、情報発信支援

事業者の役割：高齢者のニーズ把握、サービスの創出

事業者名	サービス
アイエムメディカル株式会社 FITNESS PARK5	フィットネス・健康講座
生活協同組合コープあいち	購入品無料配送
株式会社コパン コパンスイミングスクール豊明	介護予防教室
株式会社KOMOKA ダスキンホームインステッド三河安城ステーション	生活支援・家事援助
株式会社だるま Curves前後駅前店	フィットネス・健康講座
株式会社東海第一興商 カラオケクラブDAM	介護予防教室
株式会社ナカシロ 薬の湯みどり店	無料送迎バスによる外出支援・入浴・健康づくり
株式会社中西	お片づけ・生活支援
森永乳業株式会社中部支社東海支店	健康教室
株式会社スギ薬局	簡単お掃除、高齢者雇用
株式会社コナミスポーツクラブ	シニア向けプログラム「oyz」
株式会社宮地楽器	YAMAHA青春ポップス



協力後の温泉施設送迎バスの利用者数の推移



平成27年度 利用人数
 平成28年度 利用人数
 平成27年度 乗車率
 平成28年度 乗車率

協力開始（8月）以降

利用者数

2倍~2.5倍

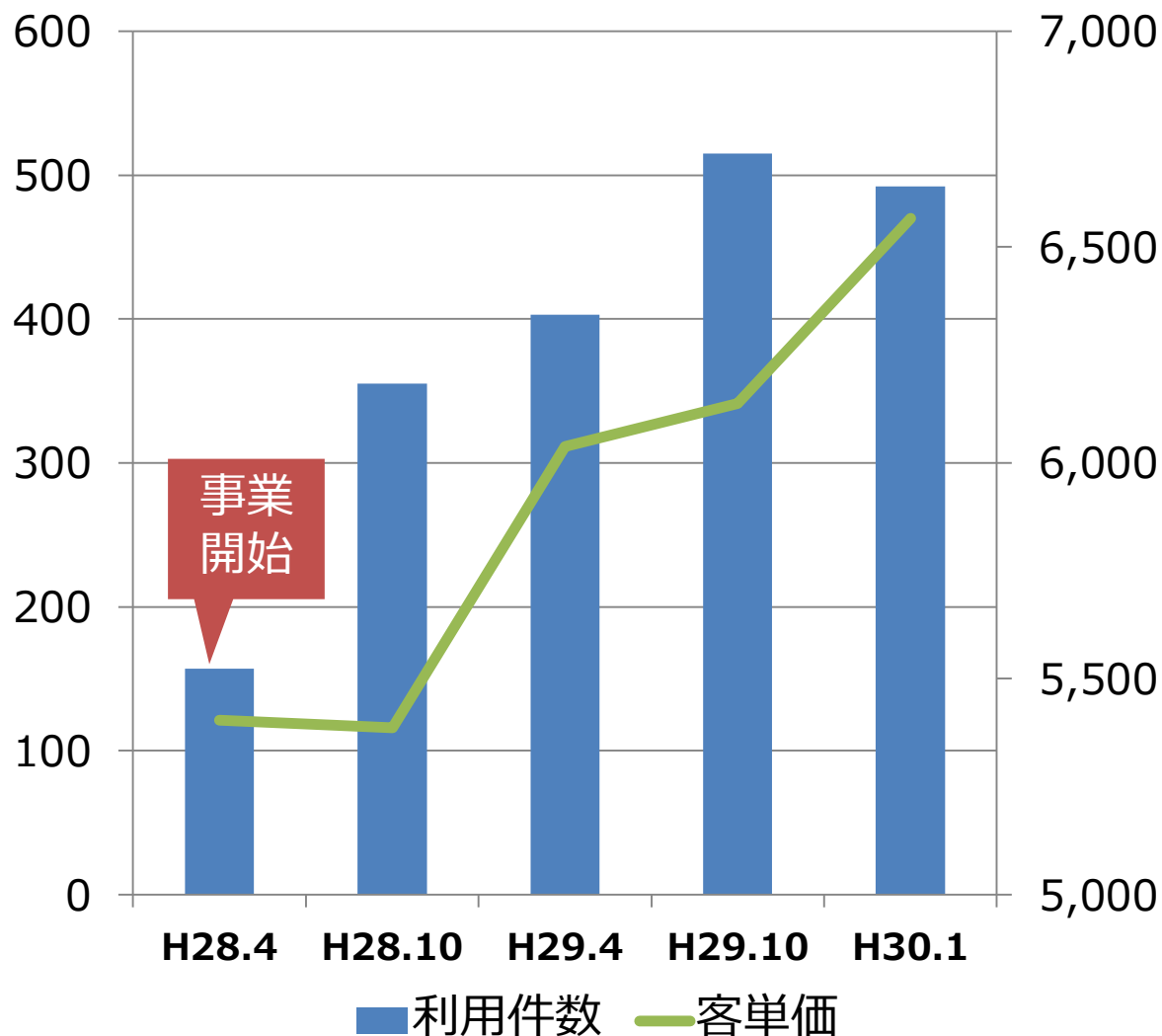
(対前年比)

乗車率

2倍~2.5倍

(対前年比)

協力後の「ふれあい便」の利用者数の推移



事業開始後

利用者数

3.2倍 (対事業開始月)

客単価

21%増 (対事業開始月)

介護保険サービス漬けにしない自立支援アプローチ

単なる介護保険サービスだけを組み合わせたり、介護保険サービスに利用者を当てはめたりするケアマネジメントから脱却し、その人に本当に必要な場所や支援を**介護保険に限定せず、幅広く探し、無ければ地域で創り出す発想へ**

これまで

訪問介護



ヘルパーによる買い物

通所介護



送迎してくれるデイサービスで機能訓練

これから

送迎付きフィットネス

公的保険

宅配サービス



送迎付きフィットネスジムで定期的に運動



駅前のスーパーまでの歩行・バスの乗車をリハ職による訓練

スーパーで自分で選んだ購入品は宅配サービスを利用

総合事業開始後の支援イメージの変化

市場サービスの活用による参加・外出の場の重層的な提供

一時的な
活動追加

PLUS 集中介入期(非日常)

元気アップ集中リハビリ
(公的保険サービス・総合事業)



日常生活へ移行



BASIC 基本メニュー(日常)

- ・地域の運動教室・サロン
- ・趣味のサークル、友人づきあい
- ・普段の家事等の役割
- ・市場サービスの利用
(フィットネスクラブ、ショッピング、娯楽、喫茶店、温泉、旅行)



以前の暮らし
普段していたこと
しなくなったこと

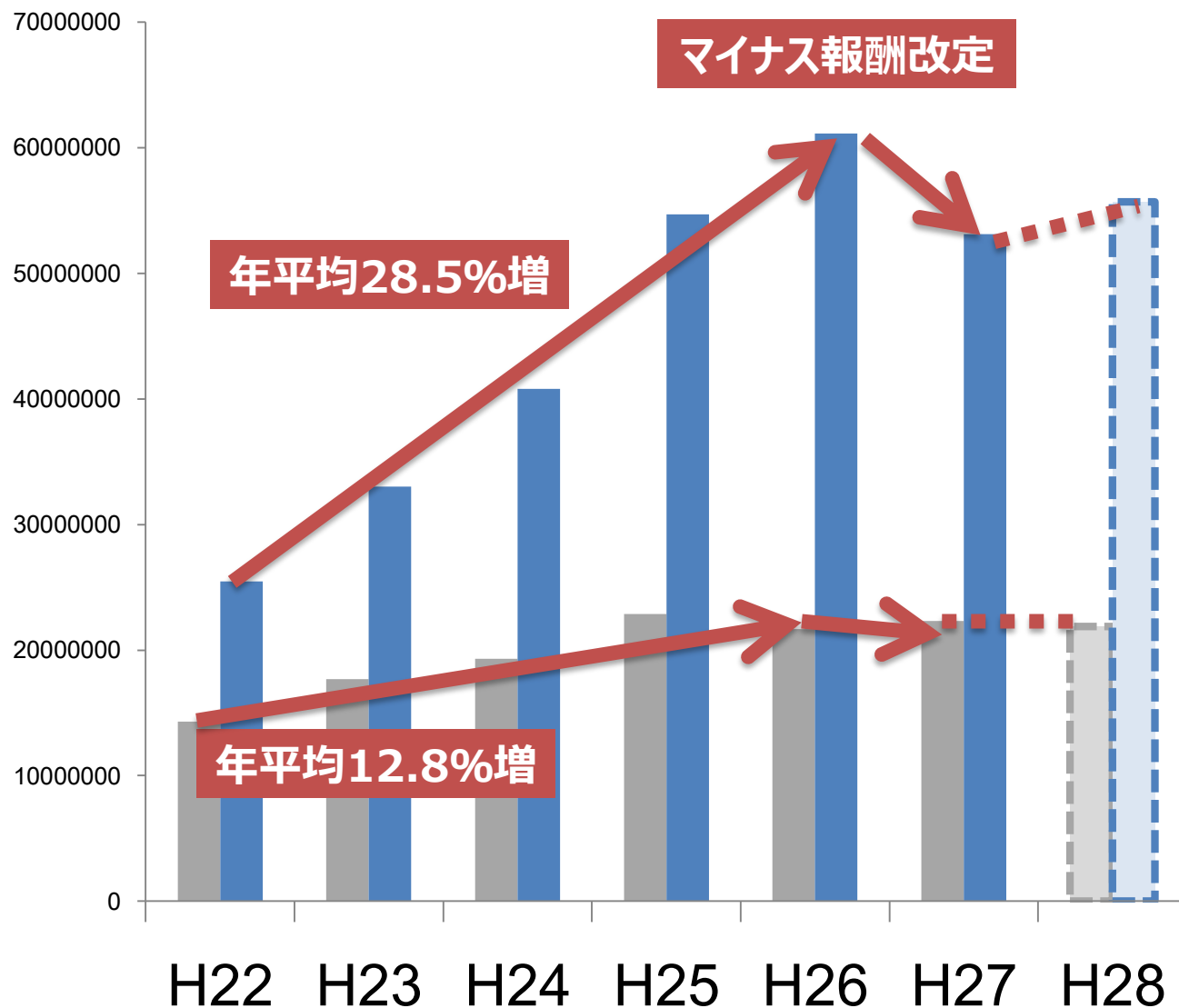
専門的支援Start

3 ~ 6Month

1Year

公的保険サービスと保険外サービスを当初から併用利用で支援開始
暮らしの場における外出を促すことで活動量を増やし、普通の暮らしへ戻していく

総合事業移行後のサービス費の伸び



給付費見込み

通所サービス

対前年比+ **2.5%**

訪問サービス

対前年比+ **1.5%**

後期高齢者数の
伸び率(5%)の
範囲内に収まった

豊明市が目指す地域包括ケアの方向性



できるだけ本人の「ふつうに暮らせるしあわせ」を守り、支える
そのために役立つものを見つける、探す、無ければ創り出す



地域包括ケアを創るための手順

資源・情報・力を集め

集約



地域へ広げ

分散



使いこなす

個別化

ケアの目的を共有
地域全体が同じベクトルへ

主な発表・視察・取材（H28-29年度豊明市対応分）

発表・事例報告

- ・内閣府「経済財政一体改革推進委員会」（東京）
- ・内閣官房「未来投資会議 構造改革徹底推進会合」（東京）
- ・厚生労働省老健局振興課「総合事業担当者セミナー」（東京・金沢市・旭川市）
- ・厚生労働省老人保健事業「これからの保険外サービス」セミナー（東京）
- ・国土交通省「住宅団地再生連絡会議」（東京）
- ・消費者庁「地方消費者フォーラム」（名古屋）
- ・国保中央会「全国市町村国保主管課長研究協議会」（東京）
- ・SPORTEC2017 Re Care JAPAN(東京ビックサイト)
- ・杉浦記念財団「看護介護医療等連携研究会」（東京）
- ・北アルプス広域連合「地域支え合いフォーラム」（長野県大町市）

行政視察・議会視察・調査ヒアリング

- ・内閣府「経済財政一体改革推進委員会」
- ・内閣官房 日本経済再生総合事務局
- ・厚生労働省老健局振興課、経済産業省ヘルスケア産業課、財務省主計局
- ・東海北陸厚生局、中部経済産業局、中部地方整備局
- ・東京都中野区、可児市、小田原市、ほか県外市町村多数
岡崎市、大府市、知立市、長久手市、日進市、北名古屋市、美浜町、東浦町、
知多北部広域連合（ほか県内市町村多数）
- ・市議会議員視察（ほか多数）

取材

- ・NHK（全国）、テレビ愛知、CBC
- ・共同通信社、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、朝日新聞、シルバー新報
- ・日経グローバル、月刊ガバナンス、月刊介護保険情報、月刊介護保険
- ・日本医療企画「介護経営白書」





健康福祉部 高齢者福祉課(平成30年4月より健康長寿課へ改名)

E-mail : chiikikea@city.toyoake.lg.jp

TEL : 0562-92-1261 担当 : 松本

豊明市新田町子持松1番地1

<https://www.city.toyoake.lg.jp/>